

---

## 第2回理事会議事録

---

日時：平成9年11月22日（土） 13：30～16：30

場所：東京理科大学化学科会議室

出席者：岡野光治、梶山千里、小林駿介、柊川雅也（代理向殿充浩）  
池田富樹、内田龍男、大田勲夫、甲斐昌一、川上英昭、川村泰彬、  
小出直之、近藤昇一、斉藤秀雄、高津晴義、竹内安正、竹添秀男、  
谷 千束、鳥海弥和、苗村省平、野平博之、羽藤 仁、福田敦夫、  
松本正一、吉野勝美

---

### 1. 確認事項

- 1) 設立総会議事録：議事録案通り確認された。
- 2) 1997/1998年次総会議事録：議事録案通り確認された。
- 3) 第1回理事会議事録
  - ・ 役員の選出の項、第1行目「常務幹事」を「常務理事」に訂正した。
  - ・ 評議員の推薦の項、第1行目、松浦氏を追加した。

### 2. 報告事項

- 0) 第1回理事会の後の経過報告  
フォーラム研究会委員会の副委員長を高津氏にお願いすることとしたとの  
会長報告があった。
- 1) 会員登録状況の件：総務委員会  
97/11/19現在総数665件。
- 2) 会誌発送状況の件：総務委員会  
広告関係87冊、液討、液若不参加者へ2ndアナウンスメントの資料に基づ  
いて1617冊発送した。
- 3) 協賛金入金状況の件：財務委員会  
・ 97/11/20現在12,489,265円。
- 4) 各委員会からの報告
  - ・ 財務：・ 会誌創刊号に関する支出についての報告。
  - ・ 編集：・ 会誌vol.1の見積もりについて報告。  
会誌投稿規定について報告  
別刷代金を予算案通り各執筆者に請求する。  
表紙の有無で別刷代を変えることなどの見直しを行う。
  - ・ 投稿規定は、編集委員長と広報委員長とで内容を検討する。会誌に掲載する。
- 5) JLCS-ALCOM 合同講演会の件：企画委員会
  - ・ 開催結果、並びに収支について報告され、承認された。  
(収支 赤字49,534円)。
  - ・ 本件に関連し、講師謝礼はなるべく支払わない方向で検討するよう提案さ  
れた。
- 6) ILCSへの加盟手続き進捗の件：国際交流委員会  
本会のILCSへのaffiliation、ならびに苗村理事のILCS Board Member 登  
録を要請する手紙を本会会長からILCS会長へ送った旨報告があった。な  
お、ILCSより本会会則とその英文要旨をもとめられたので後日ILCS宛に  
送付する。JLCS会則（日本語）並びに要旨を英文翻訳後発送する。

### 3. 審議事項

#### 1) 日本学会事務センターとの契約の件：総務委員会

- ・契約書案通り承認された。
- ・本件に関連し、今後は会議資料についてはなるべく電子媒体を活用し、会議費用を軽減させることが提案された。
- ・具体的手法は、総務委員会/企画委員会で検討する。

#### 2) シグマ出版との契約の件：総務委員会

- ・契約書の案通り承認された。

#### 3) 会誌「液晶」への広告の件：総務委員会

- ・広告代理店に関し議論し、広告勧誘に関しては、Vol.2までは学会が独自で行う。これと並行して広告代理店を慎重に検討することとした。
- ・会誌に広告請求用のハガキを挟み込む、その事務取扱いは当分の間シグマ出版に依頼することとした。

#### 4) 賛助会員勧誘の件：財務、広報委員会

- ・賛助会員募集の依頼書の案に関して：賛助会員のメリットを明記する。原文をまず広報委員長が推敲し、これをMLで各委員に配信し検討することとした（期限11/26）。
- ・賛助会員募集は年内発送を目標とする。

### 5) 事業計画

#### ① 日本液晶学会討論会（仮称）の場所、日時：行事委員会

- ・大阪ライフサイエンスセンターが第一候補。3日間で150万円～170万円の予算。時期は98/10月中旬。詳細は、行事委員長と吉野理事とで詰める。期限97/11月末（次回会誌に掲載することを目標とする）。
- ・なお、秋の講演会（企画委員会担当...液討の前日に開催する計画）も考慮する。
- ・開催日は平日を基本とする。
- ・液討の正式名称に関し議論があったが、フォーラムの運営と関連付けて今後継続審議することとなった。

#### ② 研究フォーラムの件：研究会委員会

- ・各フォーラムはフォーラム研究会を1回/年以上開催すること、また各フォーラム間のジョイント研究会を開催することなどを検討中。
- ・今後、各研究会委員長、副委員長、並びに各主査で具体的計画を策定する。
- ・先の準備委員会で決まった、予算50万円は各研究フォーラムの運営費に充てる。

#### ③ テーマ講演会の件：企画委員会

- ・テーマ講演会として、東京工業大学研究・情報交流センター共同研究のための萌芽的研究課題シンポジウムを協賛。

#### ④ サマースクールの件：企画委員会

- ・開催地に関しては東北を中心に検討中。内容・形態を若手研究者に対するチュートリアルにするか、別な面をも入れるかの議論があった。
- ・企画委員会の下部組織としてサマースクール準備委員会を置き、具体的業務を行うことが企画委員長から提案され、承認された。
- ・研究フォーラムの各委員の企画参画をお願いすることを、また東北地方在住の各先生方にもご協力をお願いすることとした。

#### ⑤ 理事会の日程の件：総務委員会

- ・理事会として実際に参集するのは、液討の際の1回+他2回の計3回とし、他は電子媒体等により連絡、承認その他理事会業務を行うことが総務委員長から提案され、承認された。
- ・電子媒体を多く活用することに関し、当該テーマの担当委員長が責任をもって業務推進することが確認された。

### 6) その他

#### 1. 日本学会事務センターからの問い合わせの件：総務委員会

- (1) 会計年度について：97/9/25～97/12/31は97年度とする。
- (2) 会費請求について：98年度から請求する。
- (3) 入会年度について：入会年月日は申し込みがあった日とする。
- (4) 入退会承認方法について：
  - ・入会方法については問い合わせの手順で行う。なお、この際、入会者の審査はメンバーシップ担当委員会を総務委員会の下部に組織し、審査することとした。また、審査結果など、退会に関する事項は書類で残すこととした。
  - ・退会方法については特に議論されず。

#### (5) 海外会員会費について：

- ・円立て（国内会員と同一額）で、原則クレジットカード支払いとする。会誌を航空便で送付することを要求する場合は別途送付料を請求する。

#### 2. 協賛依頼

下記4件が提案され承認された。

- (1) 「第26回熱測定ワークショップ」（日本熱測定学会）  
（阪大、平成10年3月6日）：
- (2) 「AM-LCD98」（応用物理学会）  
（工学院大、平成10年7月9日）：

(3) 液晶に関する日英共同セミナー

(平成11年5月、奈良) :

(4) 東京工業大学 研究・情報交流センター・共同研究のための  
萌芽的研究課題シンポジウム (東工大、平成10年5月15日)

3. その他

- 液晶化学・材料研究フォーラムに対しての共催の申し入れ (高津理事) :  
平成10年3月9日大阪工業技術研究所から共催の申し入れ (資金援助はなし) があったが、日本液晶学会の事務センターに正式に書類で申し込むよう高津氏に依頼した。
    - 総務委員会下部組織の広告担当を、大工研の清水氏に依頼する。
  - 会員普及について梶山常務理事から提案があり、新たに会員普及委員会を置くことにした。その委員長を谷理事、副委員長を野平理事にお願いした。なお、会員数拡大のために会員の特典を強調する。具体的には液討の発表者は会員に限る、各種行事への参加費の会員、非会員とでの差の拡大などの意見が出された。
  - 会員普及に利用できるよう、各理事に会誌創刊号を10部程度発送する。
  - 設立総会議事録、97/98年次総会議事録、第1回理事会議事録、すなわち、理事会で承認された事項をホームページに掲載することを承認した。内容については、広報委員会で検討する。
  - 入会登録申し込み用紙の送付をメール上で要求することができるようにすることを承認した。
  - 学会全体、および各フォーラムの計6つのMLに関して、商用プロバイダに管理させる (費用¥2,000×6) ことを承認した。
  - ML、WWWの実務担当者に対して、委員長名で正式に委嘱状を発行する。 : 企画委員会/総務委員会
    - 97年度エレシヨウ並びにLCD Internationalへの出展 (企画委員会が担当した) を追認した。
-